

ワークショップ

世界遺産をシカから守れ

大峯山脈の自然再生に向けて

と き：2006年3月14日(火)

ところ：天川山村開発センター

参加費：無 料 (事前申し込みは不要です)

問合せ先：森林再生支援センター

近年全国各地においてシカによる自然植生への深刻なインパクトが顕在化してきました。世界遺産に指定された大峯山脈でも、地元の方々や登山者、研究者による観察や状況証拠を総合すると、シカの密度はより広域にわたってほぼ確実に増加しています。現状が社会的に十分認知されることなく放置された場合、森林自体にとどまらずその立地基盤の崩壊に繋がるおそれがあることも指摘されています。

この大峯を守るべく、シカによるインパクトを評価し植生保全の方策を立てるためには住民、研究者、行政の協働が不可欠です。また、故郷の自然として日々大峯の山々を仰ぎその自然の恵みも災厄も直接的に暮らしに関わってくる地元の人たちがいかに振舞うかということが大事です。そのような協働の契機となることを期待し、このワークショップを開催いたします。



ワークショップ

第 部 講演

- 13:00～13:05 挨拶 村田 源(森林再生支援センター)
13:05～13:50 講演 湯本貴和(総合地球環境学研究所)
「世界遺産をシカが喰う」
シカによる植生の劣化は日本全国の問題」
13:50～14:20 講演 冢瀬 充(天川村)
「自然資源を守り村の将来を拓く」
天川村から大峯の自然再生を考える」
14:20～14:40 *** 休憩 *** 写真展をゆっくりご覧下さい

第 部 討論

- 14:40～14:55 松井 淳(奈良教育大学) 前鬼のモニタリングについて
14:55～15:10 手塚賢至(ヤッタネ調査隊) 屋久島におけるネイチャーガイド
15:10～16:30 意見交換 コーディネーター 高田研一(森林再生支援センター)
困りごととはなにか？課題はなにか？見通しは？

写真展

「大峯の自然いま・むかし」 写真提供:平恵子(奈良植物研究会)

<開催場所>

天川山村開発センター

Tel 07476-3-0321(天川村役場)

所在地 天川村沢谷(天川村役場の近くです)
(天川川合バス停より南西500m。青い橋を渡る)

天川村役場HP <http://www.vill.tenkawa.nara.jp/>

<問い合わせ先>

特定非営利活動法人 森林再生支援センター
〒603-8145 京都市北山区小山堀池町28-5

Tel / Fax 075-432-0026

E-mail info@crn.net

<http://www.crrn.net>

近鉄と奈良交通バスをご利用の方は、下市口からのバスの本数が少ないので、バスの発着時刻に合わせて近鉄を利用することをおすすめします。

- 近鉄
大阪阿部野橋 (近鉄南大阪線) 橿原神宮前
(近鉄吉野線) 下市口 (近鉄特急で1時間)
京都 (近鉄京都線) 西大寺 (近鉄橿原線)
橿原神宮前 (近鉄吉野線) 下市口 (近鉄特急1時間20分)
奈良 (近鉄奈良線) 西大寺 (近鉄橿原線)
橿原神宮前 (近鉄吉野線) 下市口 (近鉄特急1時間)

- 奈良交通バス
下市口～天川川合
(天川川合まで1時間04分)

